

# 香美町ならではの 教育の挑戦

●問い合わせ先 町教育委員会生涯学習課

近年、子どもたちを取り巻く環境は複雑化・多様化しており、これらの課題に対しては、学校と地域が連携・協働し、社会総がかりでの教育の実現が求められています。子どもたちの輝く未来の創造に向けて、学校と地域住民が「地域でどのような子どもたちを育てるのか」「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有することが重要です。

こうした現状を踏まえ、本町では、令和5年度に、まず先行導入校として3つの中学校と小代小学校の4校で、令和6年度には、その他すべての小学校に『コミュニティ・スクール（CS）』を導入します。

これは、学校と地域がパートナーとなり、子どもたちを育て、支えていくための取り組みです。皆さんのご支援・ご協力をお願いします。

## コミュニティ・スクールとは？

「学校運営協議会」を設置した学校のことです。

学校運営協議会では、保護者や地域住民が学校の運営に参画し、より良い教育の実現に取り組みます。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

構成するメンバーは、保護者の代表、地域住民、学識経験者などで、教育委員会が任命します。

## コミュニティ・スクールの導入に向けた研修会を開催しました

昨年9月29日、学校関係者に対してコミュニティ・スクールの仕組みや、意義・必要性についての理解促進を図るため、文部科学省からCSマイスター（コミュニティ・スクール推進員）の小西哲也氏を講師に招いて、各小中学校の校長や教育委員会職員を対象に研修会を開催しました。

令和5年度には、学校運営協議会委員など地域の人も対象とした研修会を予定しています。



▲研修会でコミュニティ・スクールについて理解を深めました。

## コミュニティ・スクールに期待すること

本町では、これまでから住民の皆さんに、ふるさと学習の講師や登下校時の見守りなど学校園の活動を支援していただいています。今後、コミュニティ・スクールの導入により、学校と地域との意思疎通がさらに深まるだけでなく、一例として、住民が学校の庭木の雪囲いを指導したり、授業や行事などの教育活動に参加したりするなど、地域にとっても学校がより身近な存在になり、地域と子どもたちのつながりから交流が促進され、そこから、子どもたちが自己実現や地域貢献など、志を果たしていける未来となることを期待しています。